

くまのくにみ

広報

NO.461

平成23年12月

2011.

12



最後までがんばって

藤田小学校のマラソン大会が11月上旬に開かれました。ゴールめざして一生懸命走る姿は、「最後までがんばって」と応援したくなる瞬間でありました。

◆ 今月のおもな内容 ◆

平成 23 年度表彰式	2
国見町消防団定期点検	7
笑顔のひろば	12
まちのわだい	14
保健だより	16
くらしの情報	18
生涯学習つうしん	20

平成23年度 表彰式

平成23年度国見町表彰式は11月25日、観月台文化センターで挙行されました。

町の表彰は、昭和42年以来、町の発展と町民福祉の向上に貢献され、顕著な功績のあった方々を永く顕彰するために毎年行われています。

国見町表彰条例に基づき表彰審査会において審議いただいた結果、今年度は7名の個人の方と7団体が受賞されました。また、東日本大震災においてご支援いただいた5団体に對しては、感謝状が贈呈されました。



晴れの受賞者

特別功勞表彰

特別功勞表彰は、町の振興に特別な功勞があった方や功勞表彰を受賞された方が引き続きその職にあり、功績が顕著である方を表彰するものです。

寺島 詔さん

—保健医療—



鈴木 正夫さん

—消防防災—

昭和39年4月から38年間の永きにわたり看護師として公立藤田総合病院などに勤務し、患者の立場に立つた看護体制の確立や人材育成に尽力し、保健医療の充実発展に貢献。また、平成19年1月から現在まで人権擁護委員として人権思想の普及啓発、相談等人権擁護活動に尽力。平成23年4月瑞宝双光章受章。

昭和32年5月から41年11月の永きにわたり消防団員として、防火思想の普及、団員の育成指導、消防施設の整備充実のために尽力、地域住民の安全安心のため大きく貢献。また、平成13年12月から平成19年11月まで、民生児童委員として地域福祉の向上に貢献。平成23年11月瑞宝単光章受章。

功勞表彰

功勞表彰は、町政の発展向上などに寄与し、功績が顕著であった方や多額の金品などを町に寄附した方などを表彰するものです。

村木 一郎さん

—自治振興—

五十嵐 力さん

—自治振興—

平成12年4月から現在まで12年の永きにわたり町内会長として、町と町民との相互連絡を図り円滑な町政運営に貢献。

穂苅 榮治さん

—消防防災—

昭和56年4月から現在まで30年の永きにわたり消防団員及び幹部として地域消防・防災、防犯活動に尽力。



善行表彰

善行表彰は、人命救助をした方や奉仕活動など模範となる活動、町に多額の寄付をした方などを表彰するものです。

株式会社大岩マシナリ

—寄附—

本年3月に発生した東日本大震災にあたり、町の復旧・復興のために多額の金品を寄附。

飯塚 光さん

—寄附—

町の文化振興のため、父飯塚栖圃氏作日本画「からまつ林」(50号)を寄贈。

山本 テルさん

—寄附—

日本共産党中央委員会

—寄附—

立正佼成会一食平和基金

—寄附—

国見町役場職員クラブ

—寄附—

VTT研究会

—寄附—

福島信用金庫

—寄附—

自治労国見町職員労働組合

—寄附—

本年3月に発生した東日本大震災にあたり、町の復旧・復興のために多額の金品を寄附。

感謝状

情報の伝達などの災害対策活動に尽力。

国見町赤十字奉仕団

—災害対策活動—

本年3月に発生した東日本大震災にあたり、避難した町民の安全・安心確保のため長期にわたり炊き出しを行うなど災害援護活動に尽力。

国見町民生児童委員協議会

—災害対策活動—

本年3月に発生した東日本大震災にあたり、要援護者の安否確認や避難救護、生活支援のための相談活動を行うなど災害援護活動に尽力。

国見町町内会長連絡協議会

—災害対策活動—

本年3月に発生した東日本大震災にあたり、町民の安否確認や避難誘導、被災状況の収集・報告、行政





災害から町を守る消防団員

平成23年度 国見町消防団定期点検
11月6日 上野台運動公園グリーンアリーナ923



大切なのは常日頃の訓練



国見町消防団
吉田 春夫 団長

日頃より、夜警や火災予防のための広報活動、危険箇所点検など、それぞれの分野で活動している消防団員に対して、「ご苦労様です」と言いたいです。3月に発生した東日本大震災では、消防団員が自発的に出動してくれたことで非常に助かりました。また、昼夜を問わず、泊まり込みで避難者の対応をする姿から、国見町民の生命と財産を守る頼もしい存在であることを感じました。近年、世界的に想像を絶するような災害が多くなっている中で、消防団員が出動する機会はますます増えてきます。国見町消防団では、団員として活動する多くの皆さんを求めています。特に女性の方には、消防団員として女性の繊細な心で町民の方に接して、防災・防火をアピールしていく活動を期待しています。各種の災害に備えて、大切なのは常日頃の訓練であります。国見町消防団として、今後、防災訓練をはじめ多くの訓練を積み重ねていきたいと考えています。

- ① 機械器具点検で消防車両の前に整列する団員
- ② 統監（町長）に対して敬礼する幹部団員
- ③ 消防団を後方で支える女性防火クラブ
- ④ 点検前に町内を行進する団員
- ⑤ 定期点検で大きな役割を持つトラック隊

東日本大震災が発生した時、いち早く現場に駆け付け、私たち町民の避難誘導や被害調査などの活動をしたのは、消防団員の方々の多き功績です。私たちがいかに分らず、避難するのが精一杯でした。そのようなか中、消防団は、地域の人々のために24時間体制でさまざまな支援活動にあたりました。その消防団員が年に一度常日頃の訓練の成果を披露する国見町消防団定期点検が11月6日、上野台運動公園グリーンアリーナ923などで実施されました。午前8時30分、藤田商店街に整列した消防団員を前に統監である佐藤町長はじめ来賓の方々による車上からの観閲が行われました。その後、上野台運動公園グリーンアリーナ923に会場を移し、女性防火クラブ員を加えて、部隊編成や人員報告、開会式が行われました。開会式では、佐藤町長より「東日本大震災時、消防団員や女性防火クラブの皆様には、大いなる支援を賜り厚く御礼申し上げます。団員の皆様には、生業に励む傍ら、使命感をもって消防・防災活動にご精励いただき、敬意と感謝を申し上げます」と訓示がありました。また、消防活動に功績のあった方々に対する

各種表彰及び伝達が行われました。開会式の後に行われたのが、通常点検や機械器具点検（※）、そして規律訓練が行われました。団員の規律正しい迅速な動きからは、災害から町を守る消防団員の強い使命感と頼もしさが伝わってきました。最後に閉会式が行われ、八島町議会議長はじめ来賓の方々より祝辞が述べられ、消防団員の活動に対する敬意が示されました。また、佐藤町長による統監講評と吉田団長のあいさつがあり、約2時間に及ぶ定期点検が終了しました。

※安全な消防活動のために行われるもので、通常点検では、団員の整列状態や服装などを、機械器具点検では、主に消防車両やポンプの状態を点検し、統監に確認を受けるもの。

規律正しい 迅速な動きを披露

定期点検表彰受賞者

（敬称略）

- ★日本消防協会定例表彰
 - ◎精績章 鈴木耕治
- ★福島県消防協会定例表彰
 - ◎功績章 穂苅榮治
 - ◎精勤章 高橋一男、佐藤浩信、佐藤一也
 - ◎勤続章 徳江忠、高野正喜、菊地隆、遠藤豊和、佐藤浩、松浦祐一
 - ◎退職団長感謝状 松浦幹男
 - ◎退職団員感謝状 菊地敏裕、黒田武、八巻和夫、佐藤清一、佐藤智秋、佐藤賢次郎
- ★消防協会伊達支部定例表彰
 - ◎功績章 岡崎長市、菊地隆志、野村伸一、渡邊宏之
- ◎精勤章 穴戸徹、佐久間守、菊地秀一、野崎信男
- ◎退職団長感謝状 松浦幹男
- ★国見町長、消防団長表彰
 - ◎退職団員感謝状 松浦幹男、菊地敏裕、黒田武、市川博之、八巻和夫、佐藤清一、佐藤智秋、佐藤賢次郎
- ★国見町消防団長表彰
 - ◎優良消防団員 阿部松次、後藤浩幸、遠藤和彦、遠藤健司、秋葉克彦、武田靖弘、穴戸孝司、近野正、玉手宏治、松浦淳一、松浦新一郎、谷津晴樹

2本の堀と3本の土塁で構成

阿津賀志山防塁第10次発掘調査

国見町教育委員会が10月11日から約1カ月にわたって実施した阿津賀志山防塁第10次発掘調査の現地説明会が11月12日、石母田地区の防塁跡地（国道4号北側）

で開かれました。町内外から約60名が参加し、佐藤町長のあいさつの後、調査担当職員が概要を説明しました。

今回調査を行った場所は、全長3・2kmに及ぶ防塁の国道4号からJR東北本線までの地区で、昨年度の第7次調査で西側土塁（外土塁）が西に3×4・5m



の北側です。この場所での西側への広がりと合わせて、東側への広がりも確認するため発掘調査を実施しました。

調査では、外土塁が西側2・5mまで広がり、東側では新たに幅4・5mの内土塁の跡を確認しました。このことから、現在残る防塁の範囲（幅24



11月12日に開催した現地説明会

秋の叙勲



瑞宝単光章
元国見町消防団分団長
鈴木正夫さん（原町）

みなさんのおかげで消防団活動ができました

元国見町消防団分団長の鈴木正夫さん（原町）が秋の叙勲の榮譽に輝きました。鈴木さんは、農業に従事しながら、消防団員として41年11カ月の間、地域住民の生命と財産を守る活動にご尽力されてきました。

鈴木さんは、「今回の受章は、先輩や関係者の皆様のご指導のたまものです。今後、先輩や関係者の皆様のご指導のたまものです。今後、先輩や関係者の皆様のご指導のたまものです。今後、先輩や関係者の皆様のご指導のたまものです。」とご自身の消防団活動を振り返ってくださいました。

「駅伝」に出会い、うれしい

松浦 輝選手
県北中3年



一日一日の練習を大切に、今までとは違ったふくしま駅伝に出場することができました。結団式で「多くの人に感動を与えられるような走りをする」と誓いましたが、そのおりに走り抜くことができました。また、何よりも己に勝つことができました。

「駅伝」というものに出会うことができ、本当にうれしく思っています。



多くの声援を受けて力走 第23回ふくしま駅伝

11.20 白河⇒福島 96.5km

第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月20日、白河市をスタートに福島市の県庁を目指す16区間96・5kmのコースで開催されました。国見町チームは、参加49市町村中、第37位の成績で、選手の方々は、多くの声援を受け力走しました。

今年、16人の区間エントリー選手のうち、8名が中学生であり、うち初出場の4名は、県を代表する選手とともに大舞台に挑みました。この大会を通じて中学生や若い選手の方々が、さらなる活躍をすることが期待されます。



緊張したけど
楽しく走れた
澁谷菜々子選手
県北中1年

初めてのふくしま駅伝出場でも緊張しました。それでも、応援してくださる方が多くて、楽しく走ることができました。

来年も走ることができるように、一生懸命練習したいです。

平成24年 2月1日 (水)

経済センサス 活動調査

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。

調査票は平成24年1月末日までにお届けします。2月1日以降に提出をお願いします。

- この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
- 提出された内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村 <http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm> 経済センサス 検索



除雪作業 協力をお願い

町では例年、冬期間の通勤・通学、生活道路の確保のため、町内土木業者の協力により、降雪量の多いときには早朝より除雪作業を実施しています。幹線道路を優先しつつ、町内全域にわたり町民の皆様の足の確保に努めています。

—効率的な除雪のため—

- 路上駐車は除雪作業の妨げとなります。緊急時にも支障となりますので、路上駐車は絶対にしないようご協力ください。
- 除雪作業で家庭の出入り口などに寄せられた雪は、それぞれ片付けくださるようお願いいたします。多くの皆さんが通行する幹線道路を優先させ、末端部まで除雪できないこともありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆建設課管理係 ☎ 585-2972

年末年始ごみ収集日程

- 年末年始のごみ収集日程は次のとおりです。
- 年末…12月30日(金)まで
 - 年始…1月4日(水)から
 - 1月の粗大ごみ…4日(水)と18日(水)
- 【伊達地方衛生処理組合清掃センターへ直接搬入する場合】
〔受付日〕
- 年末…12月30日(金)まで(土日祝日除く)
 - 年始…1月4日(水)から
 - 受付時間…8:40～11:30 13:00～16:00
(12月30日は15:00まで)
- ◆問い合わせ 住民生活課住民防災係 ☎ 585-2116

年末年始水道工事当番店

年末年始の水道修繕工事当番店は、次のとおりです。

月日	指定店名	電話番号
12/29(木)	(有) 高城工業	529-2222
12/30(金)	(有) 後藤設備	585-3103
12/31(土)	(有) 斎久設備	585-2310
1/1(日)	国見ガス住宅設備(株)	585-2137
1/2(月)	根本建設(株)	585-1153
1/3(火)	(有) 高城工業	529-2222

町の奨学生募集

町では、経済的な理由で修学することが困難な方に無利子で奨学資金の貸し付けをしています。奨学資金には、在学中に貸付ける修学資金と入学時に貸付ける入学支度資金の二種類があります。

- ◆**修学資金**
▼貸付額 月額◇高校:1万円以内◇高専:1万5千円以内◇大学:2万円以内
- ◆**入学支度資金**
▼貸与額 ◇高校:15万円以内◇大学:25万円以内
- ▼貸付方法 平成24年4月入学支度資金として一括貸付 ▼返還方法 平成24年4月から修学期間内に返還。無利子
- ▼貸付期間 平成24年4月から最短修学期間 ▼返還方法 卒業後6か月後から10年以内。無利子

- ◆**募集人員** どちらの資金も若干名
- ◆**申込受付期間** 平成24年1月4日(水)から13日(金)まで(ただし、土、日、祝日を除く)
- ◆**申込先** 学校教育課(高校と高専への進学予定者は、中学校へお申し込みください)
- ◆**その他** 申込書は学校教育課にあります。
- ◆**問い合わせ** 学校教育課 学校教育係
☎ 585-2892

農地パトロール(利用状況調査)を12月も実施します

平成21年の農地法等の改正により、これまで農業委員会が行ってきた「農地パトロール」が法定化されました。すべての農地を対象に、遊休農地の解消、違反転用の防止及び早期発見・是正など、農業委員などが地域を巡回し、利用状況を10月から調査してきましたが、11月では終了できないため、12月まで延長して調査を実施します。調査の結果、遊休農地や違反転用などの所有者に対しては、農業委員会が指導・勧告などを行います。

農地は食料の生産基盤である大切な資産です。また、遊休農地などは病害虫の発生など、近隣の農地や住民に大変な迷惑がかかります。農地をお持ちの方は、適正な管理をお願いします。

◆問い合わせ
農業委員会事務局 ☎ 585-2890

住民基本台帳の閲覧状況をお知らせします

個人情報保護に対する意識が高まり、「住民基本台帳法の一部を改正する法律」が平成18年11月1日から施行され、住民基本台帳の閲覧は公用及び公益性が高いと認められる場合に限定されました。また、この住民基本台帳法の一部改正により年に一度、住民基本台帳の閲覧状況を公表しています。(住民基本台帳法第11条第3項、同法第11条の2第12項、住民基本台帳法の一部の写しの閲覧及び住民票の写し等の交付に関する省令第3条) 平成22年11月1日から平成23年10月31日までの閲覧状況を下記のとおりです。

◆住民基本台帳の閲覧状況 (期間:平成22年11月1日～平成23年10月31日)			
閲覧年月日	閲覧した団体などの名称(敬称略)	請求理由	閲覧した範囲
平成23年5月25日	自衛隊福島地方協力本部長	自衛官の募集に伴う広報の適齢者抽出	全地区
平成23年8月25日	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部長	第9回飲酒・喫煙・薬の使用についてのアンケート調査	大字山崎 字耕谷地区
平成23年9月6日	日本銀行情報サービス局内 金融広報中央委員会会長	金融力調査	大字藤田地区
平成23年9月28日	内閣府政策統括官付参事官(高齢社会政策担当)	高齢者の経済生活に関する意識調査	大字森山地区

- ◆住民基本台帳の一部写しを縦覧することができる場合は、次のとおりです。
- (1) 国や地方公共団体の機関が法令で定める事務を行う場合
 - (2) 統計調査・世論調査、学術研究などの調査研究で公益性の高いと認められるもの
 - (3) 公共的な団体が行う地域住民の福祉の向上となる活動で公益性が高いと認められるものの実施
 - (4) 訴訟の提起などに使用する場合
- ※営利目的の場合は、閲覧できません。

国見町の 投票率は54.51% 福島県議会議員一般選挙

第17回福島県議会議員一般選挙が11月20日投票で行われました。震災の影響により7カ月遅れとなった県議選で各候補者は、震災からの復興や放射能汚染対策など、自身の考えを有権者にアピールしました。一方で有権者の関心は低く、投票率は福島県全体で47.51%、国見町では54.51%と過去最低の結果となりました。

投票区	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
藤田	4,503	2,244	2,259	49.83
小坂	1,048	565	483	53.91
森江野	1,391	874	517	62.83
大木戸	1,021	582	439	57.00
大枝	556	379	177	68.17
計	8,519	4,644	3,875	54.51

平成23・24年度国見町
入札参加資格審査申請書の追加受付

この申請手続きは、国見町が発注する建設工事、測量・調査・設計、物品(修繕)に関する契約に係る入札への参加を希望される方について、あらかじめ資格審査の結果、入札参加資格を有すると認められた方については、有資格者名簿に登載されることとなります。

◆問い合わせ
総務課財政係
☎ 585-2114

- ① 受付部門:「建設工事」「測量・調査・設計」「物品購入(修繕)」以上3部門
- ② 受付期間:平成23年12月1日(木)から平成23年12月22日(木)までの土日・祝日を除く
- ③ 受付時間:午前9時から正午、午後1時から午後4時まで
- ④ 受付場所:総務課財政係
- ⑤ 提出書類:町ホームページでご確認ください。

震災関連各種相談窓口

～福島県弁護士会の被災者支援活動～

◆震災・原発無料電話相談

(相談料は無料ですが、通話料はかかります)

対象：震災・原発で被災された方

受付時間：平日午後2時～午後4時

電話番号：024-534-1211 024-925-6511

0242-27-2522 0246-25-0455

◆震災・原発無料面談相談(予約制)

対象：震災・原発で被災された方

実施場所：福島、二本松、郡山、白河、会津若松、いわき、相馬 の7箇所

予約方法：平日午前10時～午後4時まで、0120-700-791(フリーダイヤル)へお電話ください。

◆原子力発電所事故被害者救済支援センター

対象：原発事故で被災された方

支援内容：原発事故の被害者救済を支援するため、弁護士を紹介し、(相談は3回まで無料)

受付窓口：平日午前10時～午後3時まで

024-533-7770へお電話下さい。

～震災法テラスダイヤル～

法テラスでは、東日本大震災による被災者の方々の法的支援のためフリーダイヤルによる専用の電話相談窓口を設置しました。

この相談窓口では、二重ローンや相続の問題をはじめ、被災者が直面する法的な問題についての情報提供をしています。

◆問い合わせ

法テラスダイヤル ☎0120-078309

平日 午前9時～午後9時

土曜日 午前9時～午後5時

～震災に伴うローン返済などに関する相談～

個人版私的整理ガイドライン運営委員会では、個人債務者の私的整理に関するガイドラインに基づき、震災に伴うローン返済に関する相談を受け付けています。住居や勤務先、事業所、取引先などが震災の影響を受け、借入れが弁済不能などがガイドラインの利用により弁済方法の変更や債務の減免などについて金融機関と話し合うことができます。詳しくは、次のところまでお問い合わせください。

◆問い合わせ

運営委員会コールセンター ☎0120-380883

平日午前9時～午後5時

東日本大震災に伴う町税などの減免受付

東日本大震災に伴う町税などの減免の受付を行っています。

まだお済みでない方は、早めに申請をお願いします。今回の震災により、リ災証明で「半壊」以上の判定を受けている方の世帯については、直接、減免申請書を郵送しています。届いた申請書に必要な事項を記入のうえ提出してください。

また、リ災証明の申請をしている方で、まだ証明書の交付を受けていない方は、「半壊」以上の判定が出た際に、随時、減免申請書をお送りしますので、必要書類をお持ちのうえ申請の手続きをしてください。なお、詳しくは次のとおりとなっています。

◆受付場所 税務課窓口及び保健福祉課窓口

◆提出書類 同封した減免申請案内で確認し、持参してください。

※申請書が郵送されない場合でも、家屋の被害以外で減免に該当される方は、窓口にお越しいただきご相談ください。

◆問い合わせ

・町県民税、固定資産税
税務課 ☎585-2778

・国民健康保険税、後期高齢者医療保険料
保健福祉課国保係 ☎585-2785

・介護保険料
保健福祉課長寿介護係 ☎585-2125



まちの復興のために

国見町で活動する全国の自治体からの応援職員を紹介します。

大阪府吹田市
下水道部水循環室下水道総務課
主幹 真壁賢治さん

大阪府吹田市より、平成24年3月までの期間、上下水道課で公共下水道の災害復旧業務を担当しているのが真壁賢治さんです。

真壁さんは、新潟県中越地震の際も、現地での災害復旧に携わった経験を持っています。この時は、10日間という短期間で、あまり役に立てなかった気がするということから、今回長期の派遣を自ら希望して国見町に応援職員として来ました。

「津波被害の無かった内陸部での被害は、ほとんど報道されていないため、派遣が決まるまで国見という地名も知りませんでした。こちらに来て想像以上の被害に驚きました。町の人は皆さん親切で現場での業務がとてもやりやすいです。」と真壁さんは話しています。



阿津賀志山ビッグツリー

12月23日(金)
～1月4日(水)(13日間)

●点灯式

・日時 12月23日(金)
午後4時45分～花火を合図に午後5時点灯
・場所 上野台運動公園管理棟前

●点灯時間

・午後5時～午後10時
(12月31日大晦日は、
午後5時～元日午前6時頃まで)

◆主催

阿津賀志山ビッグツリー実行委員会

◆問い合わせ

実行委員会事務局(国見町企画情報課)
☎585-2927

町内の移動に便利!

ご自宅から、商店や病院へ

利用してみませんか

国見まちなかタクシー

●利用料金は、200円から

まちなかエリア内移動は、1回200円、周囲のエリアからまちなかエリアへは、1回400円で利用できます。

●利用できる時間

月曜日から金曜日まで(祝日を除く)の午前8時30分から午後4時までとなっています。

●利用するためには

事前登録が必要です。

まずは、お電話を ☎585-5006

第16回国見町義経まつりフォトコンテストの審査会が10月20日、開かれました。応募作品77点の中から審査委員長の六角宥子氏(二科会写真部理事)はじめ佐藤町長ら6名の審査委員による審査の結果、次の方々が入選しました。

◆入選者(敬称略)

▼最優秀賞：渡辺稔(伊達市)

▼優秀賞：秦宏(国見町)、富士川

忠志(福島市)▼福島民報社賞：

佐藤敏子(国見町)▼福島民友新

聞社賞：武田幸吉(国見町)▼入

選：渡辺栄子(伊達市)、佐久間



最優秀賞 渡辺稔さん(伊達市)
「ひょうきん頼朝、大喜の図」



優秀賞 富士川忠志さん(福島市)
「くにももたん」と笑顔」

守(国見町)、鈴木俊博(国見町)
▼佳作：市川明(福島市)、角田
駒雄(いわき市)、新村国夫(国
見町)、長谷部進(福島市)、小田
島守明(郡山市)



優秀賞 秦宏さん(国見町)
「かわいい!!」

東日本大震災に関する

写真を募集します



3月11日に発生した東日本大震災により、国見町でも過去に例の無い被害を受けました。そこで、この震災を後世に引き継ぐため、被害状況や復旧活

動などの様子を写した写真を集めることとしました。

皆さんが撮影した写真で、町への提供が可能なものがあれば、次の内容によりご協力をお願いします。

- ・被写体人物などの肖像権については、了解済のものに限ります。
- ・写真については、データ、プリントしたものなどどのようなものでも構いません。(携帯電話で撮影したようなものでも構いません。)
- ・なお、お預かりした写真については、お返しします。
- ・ご提供いただける写真については、企画情報課企画情報係までご持参いただくか、下記のアドレスあてに電子メール(10MB以内)で送信してください。

◆問い合わせ 企画情報課企画情報係 ☎585-2927
E-mail: kikaku@town.kunimi.fukushima.jp

笑顔のひろば

「笑顔のひろば」では、保育所・季節保育所・幼稚園・小学校・中学校の話題を紹介します。

力を合わせて取り組みました 森江野小・幼稚園学習発表会



森江野小学校・幼稚園の学習発表会が11月12日、森江野小学校体育館で開かれました。森江野小学校として最後となる学習発表会。学年ごとに取り組んだ劇や合唱・合奏などからは、力を合わせて一生懸命取り組んでいる様子が伝わり、会場を訪れた人々から大きな拍手が寄せられていました。

巧みな糸扱いに魅了 「江戸糸あやつり人形」を鑑賞

大木戸の小学校の文化芸術体験事業が11月18日、大木戸小学校で開かれ、江戸時代から伝わる江戸糸あやつり人形を鑑賞しました。この日は全国的にも有名な上條さん、福田さんの2名が4つの演目を披露し、その後児童は2人の指導により、実際に糸あやつり人形を体験しました。



おじいちゃんおばあちゃん ありがとう 枝っ子祭り



大枝小学校恒例となった枝っ子祭りが11月6日、大枝小学校で開かれました。枝っ子まつりは、秋の収穫が落ち着く頃、日頃お世話になっているおじいちゃん、おばあちゃんを招待して、一緒にいも煮を食べたり、歌を歌ったのしいひとときを過ごすものです。

おいしくできるといいね 藤田保育所カレーパーティー

藤田保育所では11月15日、子どもたちの大好物のカレーをみんなで作って食べるパーティーを開き、七五三のお祝いをしました。カレー作りでは、子どもたちが野菜を包丁で切ったり、ゆでたまごの殻をむいたり調理の体験をしました。



来年の4月からよろしくね 第2回小学校交流会



平成24年4月の小学校統合に向けて第2回小学校交流会が11月15日から17日の3日間、藤田小学校で開かれ、町の5つの小学校の児童がゲームなどで交流を深めました。今回は、バスに乗って藤田小学校に集まるという形で、スクールバスで通う体験もしました。

みんな仲良く楽しみました 幼保交流事業開催



①思いついたことを仲良くかきました(1年生) ②サイコロトーク(2年生) ③学習した教科の問題をみんなで解きました(5年生) ④仲良く楽器の演奏(4年生) ⑤スクールバスで藤田小に集まる児童

藤田・森江野幼稚園、藤田保育所の子どもたちによる交流会が11月18日、藤田幼稚園で開かれ、みんなで仲良く「こどもまつり」と影絵による劇の鑑賞を楽しみました。「こどもまつり」では、藤田幼稚園の園児が色画用紙やセロハンなどで作った金魚すくいなど縁日のお店が準備され、お互いにお店の人とお客さんになり、おまつりの雰囲気を楽しみました。

国見路を走る スポ少駅伝開催

第26回国見町ソフトボールスポーツ少年団駅伝競走大会が11月20日、26チームの参加により藤田小学校をスタート・ゴールとする8区間10kmのコースで開催されました。◆入賞(国見町分のみ) 第4位…大木戸A、第5位…森江野A 区間賞…第2区・齋藤亘将(大木戸A)、第3区・高橋香澄(大木戸A)、第5区・斎藤潤(森江野A)



バレーボールで活躍 クラブチームで頑張る中学生



10月に秋田県で開催された第3回東北U-14クラブチャンピオンシップバレーボール大会で福島県代表として出場したクラブチームの「ブラックウイング」が、見事準優勝しました。このチームは、桑折町を活動の拠点としていますが、国見町の中学生3人(写真左から吉田晟也君3年、穴戸典聖君3年、穴戸竜聖君2年)が所属しています。

まちのわだい

火の用心を呼び掛け 防火パレード



秋季全国火災予防運動の一環として、消防協会伊達支部による防火パレードが11月9日、管内の市町（国見町、伊達市、桑折町）を巡るコースで行われました。

防火パレードは、毎年119番の日になみ11月9日に行われるもので、各市町消防団の消防車両が隊列を組みパレードし、火の用心を呼びかけました。

今年の全国統一防火標語

「消したはず 決めつけしないで もう一度」

仮設住宅入居者の交流を支援 赤十字奉仕団の取り組み



国見町赤十字奉仕団（安田節子委員長）では11月4日、仮設住宅に入居する飯館村と国見町内の人々の交流を目的に、「赤十字にこにこ健康教室」を開きました。

健康教室では、日本赤十字社福島県支部武田参事による健康体操やストレス解消を目的にみんなでカラオケを利用して歌を歌い交流を深めました。

赤十字奉仕団では、今後も交流する場を設け、仮設住宅入居者の支援を行ってまいります。

楽しみながら記録に挑戦 チャレンジ・ザ・ゲーム開催



福島県レクリエーション協会主催のチャレンジ・ザ・ゲーム「ざ・記録会」が11月3日、観月台文化センターで開かれ、集まった人々は、この日実施された4種目で全国ランキングに挑戦しました。

チャレンジ・ザ・ゲームとは、ロープジャンプなどのニュースポーツにより記録に挑戦するもので、その記録は申請により全国的にランキングされます。（写真は、ベア・リング・キャッチ：向かい合った2人が3つ以上のリングを投げ合い、制限時間内にキャッチできたリングの数を競うもの。）

手作りのおいしさを届けます 高齢者へ弁当を宅配



J A伊達みらいふれ愛グループさくら会（佐藤愛子会長）では10月26日、30名の会員の参加により、高齢者宅への弁当宅配をしました。

弁当宅配は、毎年春と秋の2回、町内の76歳以上の一人暮らしの高齢者と81歳以上の二人暮らしの高齢者に対して行われています。今年は、震災の影響で春の宅配ができなかったため、宅配に参加した会員は、2回分の愛情を込めた手作りの弁当を高齢者宅へ届けました。

卓球で全国大会に出場 斎藤ハツ子さん（小林町内会）



10月に愛知県で開催された全日本卓球選手権大会（マスターズの部）に斎藤ハツ子さん（小林町内会）が出場しました。

福島県マスターズ卓球選手権大会で優勝し、県の代表として挑んだ全国大会において善戦しました。

斎藤さんは、「今年は、震災の影響によりあまり練習ができなかったため、来年こそ練習してもう少し頑張りたい」と気持ちを新たに頑張る決意を見せてくださいました。

多くの人々にぎわいました J Aまつり開催



恒例となったJ Aまつりが11月12日・13日の2日間、J A伊達みらい国見営農センターで開催され、多くの人々にぎわいました。

会場には、農産物品評会に出品された農産物の展示販売や地元産の農産物を販売するコーナーなどのほか、太鼓の披露やよさこい踊りなど数多くのステージイベントが繰り広げられ、会場を訪れた人々は、農産物を買って求めながら、秋のひとときを楽しんでいました。

ポロシャツの売上による義援金 大阪府吹田市からの善意



町では、大阪府吹田市節エネルギー推進ポロシャツ製作実行委員会より、ポロシャツの売上による義援金をいただきました。

この取り組みは、夏の節電対策としてポロシャツを製作し、職員をはじめ一般市民にも数多く購入いただき、その売上金をこの度災害応援職員を派遣（※）している国見町に送ることとなったものです。※現在、上下水道課に眞壁賢治さん（写真左）が災害応援職員として派遣されています。11ページに関連記事

地域への貢献 国見ドリームクラブによる善意



還暦野球チームの国見ドリームクラブ（石塚勝美代表）は11月12日、チームの活動目的である「地域への貢献」として、国見町に対して義援金、飯館村から避難し仮設住宅に入居している人々に対して町の商品券をそれぞれおくりました。

飯館村の代表として善意の商品券を受け取った佐藤祐子さんは、「国見町の方々に大変良くしていただいております」と話していました。

貸出をします 放射線電子式個人積算線量計

東日本大震災による原発事故の長期化に伴い、放射線への関心が高まっています。

このため、自身の放射線量を確認することを通して、不安の解消や健康管理につなげるため、電子式個人積算線量計を町民の皆様に貸出します。

※屋外や部屋など、その場所での放射線量率（毎時）を測定するものではありません。



電子式個人積算線量計（パナソニック ZP-144P）⇒
※空間線量率を測定するものではありません。
装着した方の一定期間の放射線積算線量（1週間付けていれば、その間の受けた放射線の合計）を測定するものです。

◆貸出の対象者

区分	貸出期間
高校生相当の年齢の方	7日間 (一人1台1回限り)
一般町民の方（上記の方を除く）	7日間 (1世帯1回の貸出は1台とします)

※平成23年度、中学3年生に相当する年齢までのお子さん（10月からガラスバッジで対応）と妊婦（10月より貸出中）は、今回の対象から除きます。

◆貸出方法

保健福祉課保健係（観月台文化センター内）にて受付、貸出します。

受付期間 平成23年12月2日（金）～12月21日（水）

平成24年1月4日（水）～3月30日（金）

（土日・祝日を除く、8時30分～17時）

※高校生相当の年齢に該当する方の場合、保護者による申し込みも受付します。

◆持参するもの

印鑑（必ず持参してください）

【注意事項】

- ・台数に限りがあります。申込状況によっては貸出が順番になる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・線量計は、精密な電子機器で衝撃や水に弱いため、取り扱いには十分注意してください。故意や重大な過失で機器が壊れたり、紛失した場合は弁償していただく場合もあります。

*** ニコニコ相談会 ***

対象者	実施日	実施時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	2月1日（水）	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター （藤田保育所内）

【実施内容】身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。

《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒にいれて）を忘れずに！

《申し込み方法》前日まで保健福祉課または藤田保育所（☎585-2374）に電話でお申し込みください。

*** 育児教室 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成23年7月～8月生まれの乳児	2月14日（火）	午前9時30分～ 午前9時45分	観月台文化センター 第1和室

【実施内容】身長・体重測定、離乳食調理実習・試食、子育て相談など

《持参するもの》母子健康手帳、エプロン、おんぶひもを忘れずに！

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児（平成23年10月生まれ） ・9か月児（平成23年4月生まれ）	2月23日（木）	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて

《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに！

*** 3歳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日生まれの幼児	2月9日（木）	午後1時15分～ 午後1時45分	森江野町民センター

【健診内容】

☆内科と歯科の医師の診察、歯科衛生士による歯みがき指導、生活保健指導、身長・体重測定を行います。

☆心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。

☆健診該当者には、後日健診票を郵送します。

《持参するもの》

☆母子健康手帳を忘れずに！

「心の健康相談」のお知らせ

県北保健福祉事務所では、職場や地域社会・家庭の中でのストレス等の影響で、心の悩みを抱えている方が、専門の医師に相談する場として「心の健康相談」を実施しています。お気軽にご相談ください。

日程：平成24年1月20日（金）、2月14日（火） 13時30分～15時30分

場所：県北保健福祉事務所

申込み方法：予約制です。前日までに電話でお申込みください。

申込み、問合せ：県北保健福祉事務所 健康福祉部 障がい者支援チーム ☎534-4300

くらしの報

お知らせ

110番は県民と警察を結ぶ絆!

県内の110番は、地元警察署ではなく、すべて福島市の県庁内にある警察本部通信指令室につながる事件・事故専用の緊急電話です。

110番の通報要領は、まず何があったのか。さらにその場所を教えてください。住所が分からない場合は、「コンビニ、会社などの建物名」を教えてください。

あとは、警察官が順を追ってお尋ねしますので、落ちていて答えてください。

※携帯電話による110番通報時のお願い

●現場を離れずに通報を
現場が分からなくなりま

●運転中は、必ず停止して通報を
通話が途切れるおそれがあります。

●しばらくの間は、電源を切らないで
聞き返す場合があります。
◆警察では、1月10日を「110番の日」に指定しています。

多重債務に関する相談窓口など

福島財務事務所

「多重相談窓口」

福島財務事務所では、借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じしています。借金問題はさまざまな方法で解決できます。

お気軽に相談ください。
▼相談窓口 福島財務事務所

所理財課（福島市松木町13-2）
▼受付時間 平日午前8時30分～午後5時15分
☎533-0064

多重債務カウンセリング

財団法人日本クレジット

カウんセリング協会では、福島県内に居住の債務者の返済にお困りの多重債務者の方々について、クレジットや消費者金融などの債務の整理、生活再建などに関する電話相談や問い合わせに応じています。

◆電話相談・カウんセリングの予約受付 月曜日～金曜日（年末年始、祝日などを除く）午前10時～12時40分、午後2時～午後4時40分
☎0570-0011315

就職活動中の方へ各種支援・相談窓口

福島キャリアアップ

ハローワーク

就職活動中で、離職による住居喪失などでお困りの方、雇用保険失業給付を受けられず生活にお困りの方の相談窓口を設けています。

▼相談窓口 福島キャリアアップハローワーク（福島市曾根田 MAXふくしま5階）
▼窓口利用時間 平日午前10時30分～午後7時
☎529-6626

ふくしま求職者

総合支援センター

求職活動中の生活資金、住居情報、就職支援、能力開発などのご相談に応じて関係機関と連携して様々な支援を行います。

▼相談窓口 ふくしま求職者総合支援センター（福島市三河町 コラッセふくしま2階）
▼窓口利用時間 月～土曜日午前10時～午後6時30分（水・日・祝日は休みです。）
☎525-2510

難病ボランティア養成講座

養成講座

難病ボランティアの活動は、在宅療養されている患者さんとお茶を飲んだり、散歩をするなど生活のちよつとしたお手伝いが中心です。

戦後強制抑留者の皆様へ

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金を支給しています。

この度、難病の方やそのご家族と関わるための基本的な知識と技術を養成する講座を開催します。ボランティアは、初めて！という方の参加もお待ちしています。参加希望の方は、電話などでお申し込みください。
▼日時 1月18日（水）午後1時30分～午後4時
▼会場 福島県北保健福祉事務所（福島市御山町8番30号）
◆問い合わせ 福島県北保健福祉事務所健康増進課
☎534-4161

対象者は、旧ソ連またはモンゴル国の地域における戦後抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方です。（特別措置法施行日（平成22年6月16日）以降に亡くなられた方の相続人は請求できませんが、施行日前に亡くなられた方のご遺族などは、対象となっております。）

請求受付期間は、平成24年3月31日までとなっております。まだ、請求されています。

電話帳配達と回収に関するお知らせ

NTT東日本では、12月中に順次、新しい福島県版の電話帳を各ご家庭や事業所へお届けします。現在お

使いの電話帳は、お届けの際に回収しますので、配達員へお渡しください。回収した電話帳は、地球環境保護や資源の有効活用のため、新しい電話帳の原材料となります。

なお、ご不在などで配達員に電話帳を渡せなかった場合は、次の「タウンページセンター」までご連絡ください。改めて回収にお伺いします。

◆問い合わせ
タウンページセンター
☎0120-506-309
（平日午前9時～午後5時）

戸籍の窓口

10月21日～11月20日受付分

結婚おめでとう

新妻 裕樹さん (前田)
穴戸 愛さん (川内)
鈴木 勝也さん (川内)
佐久間由実さん

誕生おめでとう

佐藤 祐夢ちゃん (前田)
知彦さん 由佳さん
長谷川琴南ちゃん (滝山)
泰弘さん 綾子さん
渡邊 颯太ちゃん (山崎宮館)
哲也さん 伴子さん
中條 維知ちゃん (町東)
伸喜さん めぐみさん

おくやみ申し上げます

木村 竹子さん 80 (山崎耕谷)
亀岡キミ子さん 87 (藤田宮前)
竹田 力雄さん 71 (駅前)
菊地 龍子さん 73 (石母田原)
菊地 リツさん 88 (石母田原)
阿部 正夫さん 58 (滝山)
中野 義一さん 64 (鶉町)
三浦マスエさん 93 (光明寺)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

平成23年10月31日現在
人口 10,203人 (△5)
男 4,936人 (△2)
女 5,267人 (△3)
世帯 3,344世帯 (△2)

※広報くみにみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

【心配ごと相談】

・開催日及び相談員
12日(木) 菊地千津子さん
木村 正義さん
26日(木) 菊地 忠良さん
穴戸 加代さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

【障がい者相談】

・開催日 17日(火)
・場所 観月台文化センター 保健指導室
・時間 午前10時～午後4時
・相談事業受託者 特定非営利法人 福島・伊達精神障害者福祉会「ひびきの会」

1月の相談会

生涯学習 とうしん



国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

第40回国見町文化祭

震災の下、創意工夫により開催
 今年で第40回を迎える国見町文化祭は、国見町文化団体連絡協議会(佐藤治男会長)主催により、10月9



児童の作品も一堂に介して展示

日のダンスパーティーを皮切りに、10月30日に音楽芸能発表会、総合展示会が11月5〜6日にわたり開催されました。震災の影響から観月台文化センターのホール等が使用できない中、会場を体育館に移して実施されました。

音楽芸能発表会には20団体240名が出演、歌や踊りなど震災の中でも培ってきた活動の成果をステージにいったばい披露し、観客を魅了しました。また、総合展示では、児童、生徒達の秀作や国見町郷土史研究会企画展も体育館で一堂に展



体育館ステージで熱唱する出演者

示され、多くの来場者で賑わいました。

震災により開催が危ぶまれた文化祭も、文化団体の皆さんの熱意と、創意工夫により立派に開催され、40回の節目を飾りました。

思いきり体を動かし楽しんだ「あそぼう広場」

震災以降、思いきり体を動かせる機会が少ない子どもたちのために、『あそぼう広場』を11月13日に観月台文化センター体育館で開催しました。

「藤田っ子わんぱく広場」スタッフ4名が指導員となり、会場に集まった町内の小学生31人の子どもたちは、「ふれあい遊び」(じゃんけんゲーム、おにごっこ、数集まりゲーム)や「ニュースポーツ」(ディスクッター、ラダーゲッター、ドッチビー)で体を動かし楽しんだ。



体を動かし楽しむ子どもたち

スポーツ

10チームが健脚を競う 第35回町内一周駅伝



て最終区で逆転し、前回大会の雪辱を果たして見事初優勝を飾りました。結果は次のとおりです。

- ◆優勝: あつかし山防壁(記録1時間10分17秒、準優勝: たんがら、第三位: 小坂A)
- ◆区間賞: ①佐藤史宏(大木戸)、②酒井雄人(神明スボ振)、③松田裕輝(たんがら)、④田中広幸(藤田B)、⑤石川凜(神明スボ振)、⑥松浦大己(あつかし山防壁)、⑦佐藤泉雄(藤田A)、⑧佐藤温史(小坂A)、⑨芳賀隼(藤田B)

また、閉会式に先立ち、ふくしま駅伝出場選手の結団式が行われ、佐藤町長から町旗とユニフォームが手渡され、松浦輝さんが健闘を誓いました。



町内一周駅伝競走大会が11月13日、地区や愛好会から10チームが出場して開催されました。35回目を迎えた今大会では、コースを大幅に見直し8区間19.2kmで健脚を競いました。レースは、序盤から安定した走りを展開したあつかし山防壁チームが、終盤トップとのタイム差を縮め

町民の総意を結集！ 健康やかな青少年育成を

国見町青少年育成町民会議主催の「第12回国見町青少年健全育成推進町民大会」が11月26日、観月台文化センターで開催されました。



「家庭の日」の作文を発表する児童

大会では、多年にわたる青少年育成指導に貢献された団体・指導者の方に対する町民会議表彰が行われました。また、町民会議による「家庭の日」作文・絵画コンクールの表彰が行われ、16名の児童・生徒が表彰されました。県北地方振興局長や福島北警察署長による来賓祝辞の後、最優秀賞を受賞した児童3名が作文を発表しました。

続いて青少年育成アドバイザーの齋藤宏也氏が、「子ども・若者を応援する」と題して記念講演をしました。受賞者(敬称略)
 ○町青少年育成町民会議表彰
 ▼青少年育成団体: 人形劇サークル「エプロン」
 ▼青少年指導者: 石川恵美、阿部紀子
 ○国見町「家庭の日」作品コンクール表彰
 ▼作文の部: 最優秀賞: 石川柚奈(藤田小4年)、齋藤智博(森江野小4年)、齋藤奈緒(大枝小5年)▼優秀賞: 阿部瑠威(大木戸小2年)、藤ひなた(県北中1年)、佐藤美星(県北中2年)▼絵画の部: 最優秀賞: 齋藤愛恵(大木戸小4年)▼優秀賞: 佐藤菜子(大枝小1年)、仲野美悠(藤田小2年)、南春奈(藤田小3年)、武田佳音(藤田小6年)、中山莉瑠(大木戸小6年)▼ポスターの部: 優秀賞: 武田佳奈美(県北中1年)、板橋優希(県北中1年)、後藤菜緒(県北中1年)

文化財ボランティア養成講座開講

町では、町内外の見学者に町の誇る文化財を広く知ってもらうため、文化財ボランティアによる案内を実施しています。今回新たにボランティア登録を希望する方を対象にした養成講座を10月31日と11月24日に

開催しました。講座では、木本元治町文化財専門員から阿津賀志山防塁発掘調査成果や町の文化財の紹介がありました。今後、受講生は12月17日から開催する「ふるさと歴史教室」(全5回)を聴講し、町の歴史について理解を深め講座を修了することとなります。



木本文化財専門員から説明を受ける受講生

まちのサークル

心とむ
ボランティアを
めざして

VOL 3

しおん ボランティア紫苑



プロフィール

- ・活動日 毎月第1月曜日
- ・主な活動場所
あつかし荘、町デイサービスセンター
- ・会員数 22名
- ・会費 500円/年
- ・問い合わせ
国見町ボランティアセンター ☎ 585-3403

「回を重ねるごとに、利用者の皆さんの表情が豊かになり、親しみが増してきました。これからも、歌を歌ったり、話の聴き役になったり、利用者の皆さんと一緒に笑い、歌を歌っていきたいです」。ボランティア紫苑の代表を務める渡邊等さんは、活動の状況を振り返りました。

咲く薄紫の美しい花で、花言葉は思い出や追憶を意味するものであり、会員の提案によりこの名がつけられました。

活動の内容は、高齢者の施設を訪れ、利用者の皆さんと会話を楽しんだり、会員の羽根田ヒサさんが考案した様々なレクリエーションや歌を歌い楽しいひとときを過ごすものです。

結成当時は、特別養護老人ホームあつかし荘における「ホーム喫茶」のお手伝いが主なものでしたが、今では、町デイサービスセンターやいきいきサロンにも出向くなど活動の場が広がっています。

今後の抱負について会員の皆さんは、「ボランティア紫苑の合言葉「それは笑顔・そして親切」をモットーに、今できる喜びに感謝し、自分の生きがいのためにも長く続けていきたい。また、今後ボランティア連絡協議会のようなものが作られ、他のサークルなどと交流し、一緒に活動していきたい」と話しています。

小さな天才たち 森江野幼稚園



「がくしゅうはっぴょうかい」
さとう けいすけ (4さい児)



「がくしゅうはっぴょうかい」
まつらのぞみ (5さい児)



「がくしゅうはっぴょうかい」
さとう なつき (5さい児)



「がくしゅうはっぴょうかい」
さとう ひると (5さい児)

ふるさと工房井上秋月さんの作品「熟年三人展」くみに浪漫大地の恵み館



あとがき

11月、いろいろな駅伝大会が開かれ、タスキを次の選手に届けるために一生懸命走る選手の姿が見られました。この駅伝大会、注目すべきことは、選手の何倍もの数の人が裏方として支えていることです。中継所の係員、交通安全協会の方など、選手のために頑張っている方々にも表彰の時に「特別賞」があつたらしいと感じました。(A.S)